令和6年度 決算の概要

令和6年度資金収支計算書について

資金収支計算書について

『資金収支計算書』は、学校法人の当該会計年度の諸活動に対応するすべての収入と支出の内容を明らかにすることと、当該年度における支払資金の経緯・てん末を明らかにすることを目的としています。すなわち、資金の動きをすべて網羅した計算書で、収入には学納金収入はもとより補助金収入・前受金収入・預り金収入などが含まれ、支出では人件費支出をはじめ諸経費・資産運用支出・前払金支払支出などが含まれます。実際の支払資金の収入および支出は、当該年度に収入すべき額・支出すべき額に前年度末と当年度末の未収入金・未払金・前払金・前受金を加減算して表現しています。

令和6年度資金収支決算は、前年度繰越支払資金85億8,594万円に対し、収入総額が218億7,597万円、支出総額が245億5,922万円となり、支払資金として26億8,325万円減少し、翌年度繰越支払資金は59億270万円となりました。

資金収入の部について

学生生徒等納付金収入は145億8,715万円で、学生生徒園児等の所定の授業料収入のほか、入学金収入・ 実験実習料収入・教育充実費収入などを含みます。

手数料収入は3億8,858万円で、主なものは入学検定料収入です。

寄付金収入は3,984万円で、学院創立80周年記念「夢と虹基金」および「キャンパス環境整備支援基金」への寄付金、企業からの研究助成寄付金や奨学資金などです。

補助金収入は23億9,888万円で、国庫補助金収入と地方公共団体補助金収入が主なもので、国庫補助金は、私立大学等経常費補助金のほか、修学支援新制度授業料等減免交付金、保育園の子どものための教育・保育給付費などです。地方公共団体補助金は、兵庫県経常費補助金、授業料軽減補助金、大阪府の私立高等学校等授業料無償化制度(授業料支援補助金)や西宮市私学振興補助金、保育園の西宮市特定教育・保育施設助成金などが含まれます。

資産売却収入は44万円で、ピアノ買替に伴う売却収入です。

付随事業・収益事業収入は2億1,205万円で、学寮などの補助活動収入、診療所収入、オープンカレッジなど各種公開講座収入、企業からの委託研究などの受託事業収

入、預り保育事業収入、保育所収入です。

受取利息・配当金収入は19億6,483万円で、第3号基本金引当特定資産(奨学基金運用資産)、学術研究振興引当特定資産、減価償却引当特定資産などの運用による受取利息・配当金です。

雑収入は7億9,330万円で、私大退職金財団および県退職金財団からの交付金収入、科学研究費補助金間接 経費(科学研究費補助金の内の学校経費補助金)、施設設備利用料収入が主なものです。

前受金収入は23億5,896万円で、3月末を決算期とするため翌年度に入学する学生生徒園児の納付金および 学寮などの補助活動の各種前受金を含みます。

その他の収入は22億3,316万円で、第3号基本金引当特定資産、減価償却引当特定資産などからの取崩収入、 学生貸付金回収収入、前期末未収入金収入のほか、修学旅行費などの預り金受入収入などです。

資金収入調整勘定は△31億122万円で、以上の資金収入のうち、期末時点で未収入金となったものと、前年度に入金済の前期末前受金の額を控除するものであり、これにより当年度の資金の実質的な収入額を明らかにするものです。

資金支出の部について

人件費支出は103億2,627万円で、本務教職員給与、兼務教職員給与、退職金、所定福利費などの支出です。 経費は主たる使途にしたがって教育研究経費と管理経費に区分します。

教育研究経費支出は46億6,260万円で、大学・短期大学部、附属高等学校・中学校、附属幼稚園の教育研究活動に要した経費です。次の管理経費ともども各部門において支出抑制を図るなど経費削減に努めました。

管理経費支出は11億6,989万円で、学生生徒園児の募集経費や広報活動などに要した経費のほか、教育研究活動以外に使用する施設などの維持管理に要した経費、学寮・食堂・売店や保育所経費など法人業務活動に要した経費です。

借入金等利息支出は1,469万円で、教育環境整備費に充当した過年度借入金に係る利息です。

施設関係支出は43億3,319万円で、建物支出、構築物支出および建設仮勘定支出です。

設備関係支出は6億3,139万円で、教育研究用並びに管理用機器備品、図書支出およびソフトウェア支出です。

資産運用支出は30億1,360万円で、第3号基本金引当特定資産繰入支出のほか、施設拡充引当特定資産繰入 支出、減価償却引当特定資産繰入支出、危機対応資金引当特定資産繰入支出などに充てるための各種引当特 定資産への支出等です。

その他の支出は11億1,269万円で、学生長期貸付金、学生短期貸付金、前期末未払金、修学旅行費などの 預り金、前払金などの支払支出です。

資金支出調整勘定は△7億510万円で、上述の資金支出のなかに、本年度に資金の動きがなく期末時点で未払金となったもの(各事業団共済掛金や3月分光熱水費など)、および前年度に支払済の前期末前払金(令和6年支払の令和7年度のための洋雑誌費や通勤手当など)を控除して、当年度の資金の実質的な支出額を明らかにするものです。

令和6年度事業活動収支計算書について

事業活動収支計算書について

『事業活動収支計算書』は、学校法人の当該会計年度における教育研究活動とそのほかの動きを学校法 人会計基準に基づき表示した資料です。

①教育活動収支、②教育活動外収支、③特別収支の 3 つの区分で表示し、①と②の合計が経常収支となり、③の特別収支を合計し、基本金組入前収支差額を求め、そして基本金組入額を差し引き当年度収支差額を計算しています。

事業活動収支計算書は、学校法人の財政の永続的な維持を図るにあたっての資料を提供するもので、毎会計年度に当該会計年度中における事業活動収入、事業活動支出の内容および均衡の状態を明らかにするために作成される報告書です。いわば、事業活動収支計算書は採算状況を表し、貸借対照表と合わせて財政の健全性を表示するものです。

<教育活動収支>

収入面では、学生生徒等納付金は145億8,715万円、手数料が3億8,858万円、寄付金2,102万円、経常費等補助金23億9,888万円、付随事業収入2億1,205万円、雑収入7億9,330万円となり、教育活動収入計は、184億98万円となりました。

一方、支出面では、人件費102億7,410万円、教育研究経費72億7,772万円、管理経費14億8,938万円となり、教育活動支出計は、190億4,120万円となりました。

これら収支の状況から、教育活動収支は6億4,022万円の支出超過となりました。

<教育活動外収支>

収入は、受取利息・配当金で19億6,483万円、支出は、借入金等利息で1,469万円となり,この結果、教育活動外収支は19億5,014万円の収入超過となりました。

<経常収支差額>

教育活動、教育活動外の各収支差額を合計すると、経常収支差額は13億992万円の収入超過となりました。

<特別収支>

特別収入は資産売却差額、施設設備寄付金、現物寄付の3,704万円、特別支出は建物や図書などの資産処分差額の5億1,588万円となりました。

この結果、特別収支は4億7,884万円の支出超過となり、基本金組入前当年度収支差額は8億3,107万円の収入超過となりました。

<基本金組入額>

第1号基本金に、本年度取得した建物・構築物などの有形固定資産の取得額から、除却等による減少高を 控除した額を組み入れました。第3号基本金は、4種類の奨学基金において、運用果実を組入れ、それぞれ の目的の事業に要した額を取り崩しました。

これらの結果、本年度の基本金組入額は29億4,359万円となりました。

以上により、令和6年度の当年度収支差額は21億1,252万円の支出超過となり、翌年度繰越支出超過額は、24億5,682万円となりました。

令和6年度貸借対照表について

貸借対照表について

前述の『資金収支計算書』および『事業活動収支計算書』は、一定期間(会計年度)の収支状況を表しているのに対して、『貸借対照表』は、学校法人の一定時点(決算期末日)における資産・負債・純資産の内容および金額を明示し、学校法人としての財政状態を明らかにするものです。

言い換えますと、年度末における法人の資産額を明らかにし、その資産額が借入金・前受金等の負債、自己資金により調達した基本金および事業活動収支計算書当年度収支差額、前年度繰越収支差額、基本金取崩額を集計した額の繰越収支差額からなっていることを表示しています。

資産の部については、校地校舎等の有形固定資産973億3,086万円、特定資産914億4,125万円、その他の固定資産5億842万円および現預金等の流動資産68億754万円からなります。

固定資産は前年度末と比べ33億9,699万円増加しました。

流動資産については、前年度末と比べ24億1,506万円減少しました。

負債の部については、長期借入金および退職給与引当金等の固定負債49億8,754万円と、前受金などの流動負債35億7,615万円からなり、合計85億6,369万円で前年度末と比べ1億5,085万円増加しました。

基本金については、29億4,359万円増加しました。

繰越収支差額については、翌年度繰越収支差額は△24億5,682万円となりました。

純資産の部合計は、土地・建物・機器備品・図書等の基本財産に現預金を加えた総資産1,960億8,807 万円から総負債85億6,369万円を差し引いた額1,875億2,439万円となります。

負債及び純資産の部合計1,960億8,807万円については、負債の部合計85億6,369万円と純資産の部合計 1,875億2,439万円を加えた合計額です。

(本文中の金額については、 原則四捨五入により万円単位で表示しています。合計で数値が計算上一致しない場合があります。)

<別表1>

令和6年度資金収支計算書

令和 6年 4月 1日から 令和 7年 3月31日まで

(単位:千円)

	資 金 収 入	の部	
科 目	予 算	決 算	差 異
学生生徒等納付金収入	14, 517, 130	14, 587, 146	Δ 70, 016
手 数 料 収 入	350, 370	388, 581	Δ 38, 211
寄付金収入	31, 310	39, 844	Δ 8, 534
補助金収入	2, 360, 540	2, 398, 885	Δ 38, 345
資 産 売 却 収 入	440	440	0
付随事業·収益事業収入	235, 020	212, 050	22, 970
受取利息・配当金収入	1, 527, 330	1, 964, 829	△ 437, 499
雑 収 入	746, 090	793, 299	△ 47, 209
借入金等収入	0	0	0
前 受 金 収 入	2, 384, 530	2, 358, 956	25, 574
その他の収入	2, 310, 506	2, 233, 160	77, 346
資 金 収 入 調 整 勘 定	△ 3, 007, 553	Δ 3, 101, 219	93, 666
前年度繰越支払資金	8, 585, 944	8, 585, 944	
収入の部合計	30, 041, 657	30, 461, 915	△ 420, 258

	資 金 支 出	の部	
科目	予 算	決 算	差異
人 件 費 支 出	10, 409, 250	10, 326, 268	82, 982
教育研究経費支出	4, 943, 070	4, 662, 595	280, 475
管 理 経 費 支 出	1, 305, 770	1, 169, 887	135, 883
借入金等利息支出	14, 700	14, 692	8
借入金等返済支出	0	0	0
施設関係支出	5, 387, 720	4, 333, 194	1, 054, 526
設 備 関 係 支 出	636, 270	631, 394	4, 876
資 産 運 用 支 出	2, 557, 880	3, 013, 599	△ 455, 719
その他の支出	1, 128, 757	1, 112, 693	16, 064
予 備 費	(249, 000)		
ア ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	51,000		51, 000
資 金 支 出 調 整 勘 定	Δ 411, 028	△ 705, 104	294, 076
翌年度繰越支払資金	4, 018, 268	5, 902, 697	△ 1, 884, 429
支出の部合計	30, 041, 657	30, 461, 915	△ 420, 258

令和6年度事業活動収支計算書

<別表2>

令和 6年 4月 1日から 令和 7年 3月31日まで

(単位:千円)

	3	事業活動収	入の部	
	科 目	予 算	決 算	差 異
	学生生徒等納付金	14, 517, 130	14, 587, 146	Δ 70, 016
	手 数 料	350, 370	388, 581	△ 38, 211
	寄 付 金	14, 730	21, 019	△ 6, 289
	経常費等補助金	2, 360, 540	2, 398, 885	△ 38, 345
教	付 随 事 業 収 入	235, 020	212, 050	22, 970
	雑 収 入	746, 090	793, 299	△ 47, 209
育活動	教育活動収入計	18, 223, 880	18, 400, 980	Δ 177, 100
収	基	事業活動支	出の部	
支	科 目	予 算	決 算	差 異
	人 件 費	10, 357, 790	10, 274, 105	83, 685
	教 育 研 究 経 費	7, 590, 230	7, 277, 715	312, 515
	管 理 経 費	1, 678, 100	1, 489, 380	188, 720
	徴収不能額等	0	0	0
	教育活動支出計	19, 626, 120	19, 041, 200	584, 920
	教育活動収支差額	Δ 1, 402, 240	Δ 640, 220	△ 762, 020

	Ę	事業活動収	入の部	
	科 目	予 算	決 算	差 異
	受取利息・配当金	1, 527, 330	1, 964, 829	△ 437, 499
教	その他の教育活動外収入	0	0	0
教育活動	教育活動外収入計	1, 527, 330	1, 964, 829	△ 437, 499
動	=	事業活動支	出の部	
外収	科 目	予 算	決 算	差 異
支	借入金等利息	14, 700	14, 692	8
	その他の教育活動外支出	0	0	0
	教育活動外支出計	14, 700	14, 692	8
	教育活動外収支差額	1, 512, 630	1, 950, 137	△ 437, 507

110, 390

経常収支差額

												,	T - 1111/
					H	事 業	活	動収	入	の	部		
		科	-	目		予		算	ž	Ļ	算	差	異
	資	産	売	却 差	額			440			440		0
	そ	の他	の 特	身別 収	入		4	48, 370			36, 598		11, 772
特	特	別	収	入	計		4	18, 810			37, 038		11, 772
別収					PI.	事 業	活	動支	出	の	部		
支		科	-	目		予		算	ž	Ļ	算	差	異
	資	産	処分	分差	額		50	04, 980			515, 880	Δ	10, 900
	そ	の他	の 特	排別 支	出			0			0		0
	特	別	支	出	計		50	980			515, 880	Δ	10, 900
	特	別	収 :	支 差	額	Δ	45	56, 170	Δ		478, 842		22, 672
	,	.	/#	*			(110	6, 000)					
•		r	VMI	T			8	84. 000		/			84, 000

【予備費】		(116, 000)		7	
1 7 W X 1		84, 000			84, 000
基本金組入前当年度収支差額	Δ	429, 780	831, 0	75 4	1, 260, 855
基本金組入額合計	Δ	4, 418, 491	△ 2, 943, 5	91 2	1, 474, 900
当年度収支差額	Δ	4, 848, 271	△ 2, 112, 5	16 4	2, 735, 755
前年度繰越収支差額	Δ	344, 306	△ 344, 3	06	0
基本金取崩額		0		0	0
翌年度繰越収支差額	Δ	5, 192, 577	Δ 2, 456, 8	22 4	2, 735, 755

(参考)

事業活動収入計	19, 800, 020	20, 402, 847	△ 602, 827
事業活動支出計	20, 229, 800	19, 571, 772	658, 028

1, 199, 527

1, 309, 917 🛆

令和6年度貸借対照表

〈別表3〉

令和 7年 3月31日

(単位:千円)

資産の部								
科 目	本年度末	前年度末	増 減					
固定資産	189, 280, 531	185, 883, 541	3, 396, 990					
有形固定資産	97, 330, 855	96, 029, 647	1, 301, 208					
特定資産	91, 441, 254	89, 552, 541	1, 888, 713					
その他の固定資産	508, 422	301, 353	207, 069					
流動資産	6, 807, 543	9, 222, 607	Δ 2, 415, 064					
資産の部合計	196, 088, 074	195, 106, 148	981, 926					

原則四捨五入により千円単位で表示しているため、	合計で数値が計算上一致しない
場合があります。	

			(単位・十円)				
負	負 債 及 び 純 資 産 の 部						
科目	本年度末	前年度末	増 減				
固定負債	4, 987, 542	5, 039, 784	Δ 52, 242				
流動負債	3, 576, 146	3, 373, 053	203, 093				
負債の部合計	8, 563, 688	8, 412, 837	150, 851				
基本金	189, 981, 207	187, 037, 617	2, 943, 590				
繰越収支差額	△ 2, 456, 822	Δ 344, 306	△ 2, 112, 515				
純資産の部合計	187, 524, 386	186, 693, 311	831, 075				
負債及び純資産の部合計	196, 088, 074	195, 106, 148	981, 926				

本件に関するお問合せは経理部長まで TEL 0798-45-3515 (内線2300) FAX 0798-45-3561